

2023年4月発行

CWS JAPAN NEWSLETTER NO. 79

いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、
ご理解をいただき、ありがとうございます

アフガニスタン東部 地震被災者への仮設 住宅支援 VOL.2

例年がない寒さ

被災したアフガニスタン東部の山岳地帯は元来寒冷な地域ですが、寒波の到来により今年の冬は特に厳しい寒さとなりました。ときには気温がマイナス22℃に達するなど、命の危険を伴うほどの寒さは、仮設住宅の建設工事に携わる人々の安全性も脅かします。また、これほど気温が低くなると地面も硬く凍ってしまい、家屋の土台を建設するために掘り起こすような作業も困難になります。当初は冬が到来する前に仮設住宅50戸を建設する計画をしていましたが、こうした事情に加え、支援の準備や調整の遅れなどが重なり、厳しい冬の期間の建設作業は一斉に休止することになってしまいました。工事は気温が上がる3月になってから再開することとなりました。

冬の間に行えることから

当然ですが、支援計画を滞りなく着実に進めていくことは、とても大切なことです。しかし、情勢が不安定な地域や厳しい環境下においては、様々な事情による支援の遅延が往々に発生します。より重要なことは、こうした状況になった時に、まずは被災者、そして現場で活動している職員が被むるリスクを迅速に判断し、このリスクを軽減するための柔軟かつ最大限の対応策を講じ、できることから粛々と進めていくことです。

BIG ANNOUNCEMENT!

CWS JAPANは
「認定NPO法人」として
認定を取得しました。
今後、皆さまからの
ご寄付が税控除の対象
になります。



写真

ストーブを囲みながら実施した耐震構造
に関する研修 ©CWSA

今回はまず、仮設住宅の建設が遅れている住民に対して、追加のテントや防寒具が提供されるように、現地で活動する国連機関や他のNGOと調整し、仮設住宅建設の遅れによって、被災者が厳冬による命の危険に直面することがないように努めました。一方で、気温が上がったらすぐに工事が再開できるように、屋内で可能な地域住民や地域の建設関係者に対する耐震構造と防災に関する研修を実施しました。同研修には、これまで当初計画の9割を超える1,500名がすでに参加し、今後もさらに100名に対して研修を実施していく予定です。



写真

研修は仮設テントを会場として実施されることもある ©CWSA

春が来て、支援の再開

3月に入り、気温の上昇とともに工事も再開されました。仮設住宅の建設は、外部の建設会社が行うのではなく、地域の住民が主体となって実施されます。冬の間研修で学んだ知識や技術を、地域および各世帯の事情に合わせた設計に落とし込むことによって、安全だけでなく、個々の尊厳を尊重した地域の人々に受容される住宅が再建されることになります。また地域住民が主体となることにより、学んだ知識や技術が地域に根付き、災害に対してより強靱（レジリエント）なコミュニティになることが期待できます。CWS Japanは、建設に必要な費用や工具を提供するだけでなく、緊急的に必要となる災害対応に、持続的な防災の要素を加えた支援が提供できるように努めています。5月までには計画している50戸の仮設住宅が全て完成する見込みです。

"沢山の課題を抱えているけど、自分たちにできることは、自分たちで切り拓ひらいていきたい。そうした強い決意を持った人々がそこには多くいます。"

さいごに

アフガニстанは地震や寒波だけでなく、ここ数年は干ばつの影響も受けています。こうした厳しい自然災害だけでなく、長年にわたる戦争や紛争、政情不安など社会的にも非常に困難な状況にあります。さらに新型コロナウイルス感染症の流行や世界的不況などグローバルな課題の影響も受けています。多くの人々が住み慣れた土地から離れざるをえない状況となり、国境を超えて難民として国外に逃れた人もいます。一方で、非常に厳しい状況下であっても、様々な事情から逃げることができず、同じ場所で生活を続けなければならない人々も多くいます。しかし、こうした人々はただ苦しい状況を嘆いて、助けを乞っているだけでしょうか。

違います。支援活動を現場で実施している提携団体のアフガニстан人職員も、研修に参加してくれた地域の人々も、目の前の厳しい状況に向かって、懸命に立ち向かっています。沢山の課題を抱えているけど、自分たちにできることは、自分たちで切り拓いていきたい。そうした強い決意を持った人々がそこには多くいます。今日への絶望ではなく、明日への希望がそこにはあります。

アフガニстанが抱える大きな課題は一度に解決することは困難で、支援も計画通りに進めることは難しいです。しかし、現地の人々があきらめない限り、わたしたちも実直かつ柔軟にできることから一つずつ、現地の人々と手を取り合って支援活動を継続していきます。引き続き、応援よろしく願いいたします。

(文：プログラム・マネージャー 五十嵐豪)

※本支援事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成に加え、皆さまからの温かいご支援に支えられています。

コミュニティ・カフェ@大久保がオープン!

突然ですが、新宿区大久保にカフェを開きました!そして、多様な背景を持つ人々が住む対象地域において、憩いの場になるようにとの想いをこめ、デザイナーさんにロゴを製作していただきました。



写真

コミュニティ・カフェ@大久保のロゴ
©CWS Japan

デザイナーさんのコメント「カップから感情が溢れ出す感じをさまざまなシェイプでデザイン。このロゴは多様な国籍や立場の利用者が自分らしくいられる場所、感情をそのまま打ち明けられる場所、そんな憩いの場所になる願いをビジュアルで表現しています」

なぜカフェ?

CWS Japanは2020年から新宿区を対象に災害時に支援の手から取り残されやすい外国人脆弱層を対象に調査と支援活動を実施してきました。これまでCWS Japanが行ってきたアンケート・聞き取り調査、外国人相談会と事後フォローアップ支援、日本語学校における防災ワークショップ等を通して、同地域には、流動性の高い若年層である留学生、不安定な身分・立場におかれている難民・移民が多く、地域コミュニティと関わりを持つことなく居住していることが分かってきました。一切の公的サービス、セーフティネットにアクセスできず、孤立している在留資格がない事情を抱える外国人や単身世帯の後期高齢者の日本人などの人々は大規模災害発生時には取り残される可能性が高いことが予測されます。

そこで、対象地域である大久保・高田馬場を中心とする多文化共生地域において、市民・難民・移民が出会い、つながる場づくりの活動を通して、これらの人々が見守り・見守られる、助け合いが生まれることを目的とし、コミュニティ・カフェを開設する運びとなりました。

プレオープンイベント

公式オープン日は2023年4月5日(水) 13:00-17:00でしたが、それに先んじて関係者向けのプレオープンイベントも2023年3月21日に開催し、地域の方々、場所を提供して下さる教会の方々にご挨拶させて頂きました。プレオープンイベントでは4組のミュージシャン/バンドによる演奏、ゲストスピーカーのトーク、ワークショップを行い、終始和やかな雰囲気イベントを終えることができました。



写真

バンドによる演奏の様子©CWS Japan

是非、お立ち寄りください!

地域のなかで人々が交流・相談できる居場所として月2回、第1・第3水曜日の13:00-17:00にカフェを運営します(※)。定期的なカフェ運営と合わせて、同スペースでミニコンサート、各種ワークショップ、ワールド・バザール、ワールド・クッキング教室などのイベントを開催していく予定です。

また、外国人の方向けに日本語学習支援をしたり、生活相談の窓口も設けています。主な対象者は大久保・高田馬場地域とその周辺に在住・在勤・在学等、当該地域に通っている外国人や日本人の方としていますが、近くに遊びに来た方は、コーヒーを飲むだけでもお立ち寄りいただければ幸いです。

より広く、より深く 支援者の方々とコミ ュニケーションを取 るために

皆さま、初めまして！

4月よりファンドレイジング&サポーターエクスペリエンス担当として、CWS Japanにジョインしました南原隆之介（名字の読みは「みなみはら」）です。

カタカナ22文字が連なったとても長い担当名なのですが、シンプルにまとめると「支援者の皆さまとのコミュニケーションを通じてより信頼しあえる関係を構築すること」が主なミッションとなっています。

これまで

「社会貢献」は、わたしのキャリア選択の中での大きなテーマで、前職では家族・保育分野の課題解決を目指すスタートアップでマーケティングを担当し、大小様々なオンラインイベントを開催することで、保育に関わる方々との新たなつながりを作ったり、交流を深めたりするような役割を担っていました。また、それ以前は国際協力・環境分野のコンサルタントとして国際協力機構（JICA）や環境省、国内では経産省や復興庁などのプロジェクトの推進に携わり、民間企業、非営利団体や政府系の組織、そして現地にいる方々とお仕事をしてきました。以前からNGOの方々とお仕事をすることで、職員の方々のパッション溢れる思いをどのように支援者や社会に届けられるのか？を考えていたこともあり、今回のチャレンジが楽しみです。

これから

プライベートでは妻とワンパクな2歳児の男子、そして妹の4人で暮らしています。子どもが大きくなるにつれて、この子にどんな未来を残せるのか？と考えることが増えました。また過去に自分自身が孤独で悩み、周りの人に支えられた時期もあり、人と人とのつながりで支え合える、強くなれる社会を創っていきたく、と考えています。今回はコミュニケーションを担当しますが、



コミュニティ・カフェ@大久保
毎月第1・3水曜日 13:00-17:00

5月と6月の予定

| 営業日 | イベント企画 |
|-----------------|--|
| 特別開催 5月6日(土) | ワールド・パズール |
| 5月17日(水) | ポリビア料理教室 *参加申込→ https://forms.gle/a6PaA24uccRzYy2X9 |
| 6月7日(水) | ミニライブ(ジャズバンド) |
| 6月21日(水) | おおくぼ写真ワークショップ |

※イベントの内容・日程は事前のアナウンスなく変更する可能性がありますのでご了承ください。
場所：日本福音ルーテル東京教会
JR新大久保駅から徒歩5分



交流・相談・憩いの場になるように...
コーヒーを飲み立ち寄りだけでもOK!

(※) 月によって営業日が異なる場合がありますので、営業情報やイベント情報についてはコミュニティ・カフェのSNSアカウント ([facebook](#) [instagram](#) [twitter](#)) より最新情報を発信します。

また、今回のコミュニティ・カフェ@大久保のオープンに際し、一緒に運営し、カフェ内のイベントと一緒に企画してくれる大学生・大学院生メンバー募集しています！

詳しい情報を知りたい方は、[こちら](#)をご覧ください。

(文：プログラム・マネージャー 西澤紫乃)

※本活動は、2022年度ブリヂストンBSmile募金の助成案件として選出され、支援を受けています。

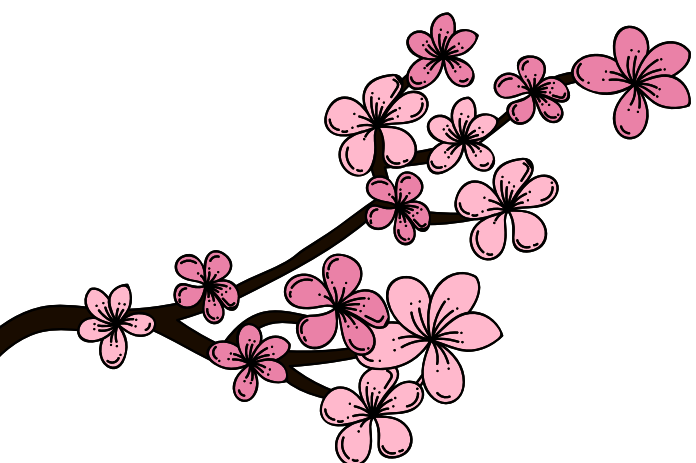
コミュニケーションには必ず「相手」がいるもの。その相手を知ることが始まりだと考えています。このメッセージを読んでいる方のことをよく知ること、それから始めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(文：ファンドレイジング&サポーター
エクスペリエンス担当 南原隆之介)



写真

息子2歳の誕生日に家族で撮った一枚



過去のニュースレターやインタビュー記事は
下記よりアクセス頂けます。

過去のニュースレターは[こちら](#)



インタビュー記事は[こちら](#)



ご高覧頂き有難うございます。次回のニュースレターは5月末の発行を予定しています。

特定非営利活動法人CWSJapan
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館25号室

メールアドレス：
public@cwsjapan.jp
電話：
03-6457-6840



[CWSJapan](#)



[@Japan_CWS](#)



[cws_japan](#)